

出演する振付家・ダンサーへの質問（木村覚より）

回答者：垣内友香里

（1）自分の方法論を言葉にしてもらえますか。

今までのBenny Moss作品では、私がトップダウンの振付をしていましたが、今回の作品では私をリーダーとした集団創作を目指しています。それにより、参加者のそれぞれの世界が広く、深く作品に反映されると思うからです。

（2）作品を作る際にもっとも心がけていることは何ですか。

作品にすること。

観客に楽しんでもらえる演出にすること。

出演者が最大の実力を発揮できるように創作すること。（出演者のやりたいことを私が最大限くみ取る努力をすること）

（3）意識している同時代の作家はいますか（ダンス／その他のジャンル）、その理由を教えてください。

チェルフィッチュの岡田さん。以前アゴラでWSを受けて、その講義に目から鱗だったので。

ドイツのダンスカンパニー、ノイエタンツ。2年前のJADEというフェスで見ました。パークタワーホール。ここ数年間で一番面白い公演で、時間の経過とともに、ますます好きになる作品です。タイトル、リボルバー。

清水宏さん。俳優。夏に、日比谷野外音楽堂でのソロライブを観て、感動しました。面白い！！です。

岸井大輔さん。POTALIVE主宰。野外劇であるPOTALIVEを、劇場でできないか、というのが、新作「フリー」の試みだからです。

東野祥子さん。12月8、9日に行われた、「いつだって目はあけていたい」公演は、集団創作によって作られたので、大変参考になりました。また、今ダンサーとして一番魅力のある人です。

武富健治さん。漫画家。友人です。一時演劇をやっていたことがあり、知り合いました。作品「鈴木先生」はとても流行っていて、書店でいつも平積みになってます。哲学漫画とよくいわれているので、私も哲学ダンスを作りたいです。

一番好きな作家（小説）は吉村昭。最近角田光代と本谷有希子が面白かったです。

（4）意識している過去の作家はいますか（ダンス／その他のジャンル）、その理由を教えてください。

今、思いつきません。

（5）いまのコンテンポラリー・ダンスをめぐる環境についてどう考えていますか。問題点、課題は何ですか。

問題点は、集客率が低いこと。食べて行けないこと。

お客さんが関係者や友達や見内でかためられていて、一般の人がほとんど来ない。だから新規の客が増えない。

演劇は、ダンスより集客数が0が一つ多い。見習うべき。でも、ほとんどのところがノルマがあるので大変。ダンスではノルマは無いから安心です。

(6) ダンスの批評の現状についてどう考えていますか。問題点、課題は何ですか。

詳しくは分かりません。もっと頻繁に、いろんなところでダンスの批評があれば、観客が増える可能性があるかもしれないと思います。ダンスは演劇に比べ、再演が多いからです。

一つの作品に対して、何人かが批評したほうが、かたよりが少なくてよいと思います。最近是一般の方はブログ検索で、批評をみたりしているようですね。

(7) 今後の作品作りで、心がけようと考えていることはありますか。あれば、それはどんなことですか。

今までみたことがない、と観客が思うような作品をつくりたいです。

私の作品に係ったすべての人が、今後それぞれの世界で伸びて行ってほしいです。

参加者を拘束させすぎない、負担をかけさせないことです。その分私がかんばろうと思っています。